

令和7年度 地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

【本事業における課題や目標、評価・分析】

高原町

【本年度重点的に取り組む課題】

ボランティアが減少しているため、ボランティアの確保に努める。

【課題の詳細】

現在、ボランティアの方々による様々な支援等が行われているが、学校支援ボランティア数が年々減少傾向にあり、多様化する現在において、子どもの接し方も複雑であり、十分な知識も必要である。そのため、ボランティアの育成と確保が重要である。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

- ・ボランティアの募集を幅広く実施するとともに、研修会を実施し、学校や児童生徒の現状を把握しながら、ボランティアの質の向上とボランティア同士のつながりを通じて、協力体制を整えていく。

【本事業で達成する目標】

- ・ボランティアが減少しているため、まずはボランティアの確保に努める。具体的には、募集を随時行うなど周知活動を強化し、ボランティアの知識向上に繋がるような研修会（学校や子供たちの現状を理解できる内容を盛り込むなど）を開催し、ボランティアの増加を目指す。

【目標の達成度を測る指標】

- ・地域ボランティアの人材及び人数の確保

現状の数値 (R6 末)	本年度 (R7) の目標値	本年度の実績値 (R7 末)
66人	70人	74人

【目標に対する評価・分析】

区長会文書や個別文書にてボランティアの加入について募集を行った。また、個人でボランティア活動をされている方にも声掛けをした結果、目標人数を達成することができた。また、来年度から学校統合になるため、スクールバスの見守り活動や登下校時の安全確保等が重要になってくる。そのため、ボランティア研修会を開催したところ、民生委員をはじめとする各種団体等から積極的に参加いただき、ボランティアの増加に繋がった。